

【施設状況】

グループ名称	青少年錬成センター										
指定管理者名	株式会社オーエンス						法人番号	5010001039404			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課			副					
構成施設	3392	青少年錬成センター									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	青少年錬成センター本館(宿泊棟、食堂、厨房、柔剣道場、工作棟、キャンプ場、多目的グラウンド、アスレチック) 青少年錬成センター分館(宿泊室、研修室、自炊室、食堂)										
施設設置目的	長野市青少年錬成センターは、規律ある集団宿泊活動を通し自立、協同、友愛、奉仕の尊さを学習し、普段の家庭や学校生活では得難い体験をすることによって、明るく、たくましく、心身ともに健全な青少年を育成する。										
基本方針等	青少年に対する野外、屋内での各種体験活動を中心とした、指定管理者の創意工夫に基づく管理運営によって、年間を通じて集客を図り、また地元住民の積極的雇用を図ることにより、施設が有効利用され所期の目的を達成することを目指す。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの受付予約等に関する業務</li> <li>・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務(企画事業)</li> </ul>										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス				当該指定管理者の 指定回数	3 回		
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成21年4月1日		
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		幼児	人	520	494	144	24	17%	3
		小学生	人	5,696	4,065	970	621	64%	
		中学生	人	439	674	122	80	66%	
		高校生	人	1,490	928	55	63	115%	
		一般・引率	人	8,605	6,003	1,283	1,039	81%	
		計	人	16,750	12,164	2,574	1,827	71%	
								#DIV/0!	
(特記事項) 新型コロナウイルス感染拡大の為、利用者数が大幅減となった。 コロナウイルス感染拡大による休館 9月3日～12日、1月28日～3月6日									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターの受付予約等に関する業務</li> <li>センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>			新型コロナウイルス感染拡大影響を受けて業務の縮小をしたため指定事業の利用者数が大幅に減少した。				
	自主事業	親子で山野草狩り、親子で陶芸体験、親子でバーベキュー、親子で野外カレー、親子でつるかご作り、親子で餅つき大会、どんと焼き、親子で恵方巻作り、親子で雪遊び			新型コロナウイルス感染拡大影響を受けて縮小し、自主事業単独での募集は行わず、宿泊利用者向けで実施した。				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理施設(鬼無里の湯、保科温泉)と情報共有を行った。</li> <li>地元の協力を得て小田切地区伝統料理の食体験を自主事業で開催した。</li> </ul>							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者要望把握		(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
		(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>館内意見箱、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施</li> </ul>	
	(3) 調査、会議等の結果	令和3年度は令和2年度同様、1年を通して新型コロナウイルス感染拡大による利用者数が大幅に減ったため、外部委託の利用者調査は規定のサンプル数を取れないため、実施する事が出来なかった。その代わりにご意見箱や職員による意見徴収に努め利用者のニーズ・要望・クレームの把握に努めた。		
利用者評価	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	職員の対応が良かった。	3
		(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑くて寝れなかった。</li> <li>スリッパが古い。</li> </ul>	
		《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> <li>扇風機を購入した。</li> <li>スリッパを購入し、古いものと入れ替えた。</li> </ul>	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	12,000,000	利用料金	1,130,295	歳入	使用料	8,195	使用料	3,985
	指定管理料	20,161,000	指定管理料	20,161,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料	1,355	行政財産目的外使用料	1,372
	販売収入等		販売収入等			貸付料	6,000	貸付料	8,200
	その他収入		その他収入		その他		その他		
	計	32,161,000	計	21,291,295	計	15,550	計	13,557	
収入	人件費	15,771,000	人件費	12,736,318	歳入	指定管理料	20,161,000	指定管理料	20,161,000
	設備管理費	4,866,000	設備管理費	2,327,812		委託料	57,200	委託料	
支出	備品購入費	677,000	備品購入費	0	歳出	需用費	39,155	需用費	
	修繕費	611,000	修繕費	246,772		役務費		役務費	
	光熱水費	2,908,000	光熱水費	2,259,547	使用料・賃借料	200	使用料・賃借料	200	
	事業費	5,114,000	事業費	852,212	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,411,000	事務経費	1,924,767	工事請負費	388,300	工事請負費		
	本社経費	803,000	本社経費	803,000	備品購入費		備品購入費		
	その他		その他		その他		その他		
	計	32,161,000	計	21,150,428	計	20,645,855	計	20,161,200	
自主事業	収入	299,600	収入	347,785					
	支出	239,680	支出	276,400					
	自主事業損益	59,920	自主事業損益	71,385					
損益		59,920		212,252	差引	-20,630,305		-20,147,643	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								60.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

4

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) センター長1名(常勤)、運営管理スタッフ2名(常勤)、厨房スタッフ1名(常勤)、補助スタッフ2名(非常勤) 計6名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

6 危機管理体制 ※すべてで、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 76

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域(地元老人クラブ等)と連携した自主事業プログラムの開催</li> <li>・地元雇用の促進</li> <li>・地元事業者の採用(物品購入・業務委託)</li> <li>・地元登山道(富士の塔)の整備</li> </ul>	新型コロナウイルス感染防止のため、自主事業プログラムは縮小して実施。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>62</b>	
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	3	12		
事業収支	4	8		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	3	6		

評価理由	「4 事業収支」について、人件費や事業費、修繕費等の支出項目の経費削減を実施し、年度計画額と比較して約11,000千円の支出削減に努めた。以上の理由から、評価を4とした。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	新型コロナウイルス感染症の予防を徹底しつつ、新たな企画を検討するなどして利用者の確保に努める。
------------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・新型コロナウイルス感染予防に努めた。(職員の体調管理、アルコールの設置、消毒の実施、食堂利用のソーシャルディスタンス確保)
- ・利用者は大幅に減少したが、より心を込めた対応を心掛けた。(来て頂いた利用者への出迎え、コミュニケーションをより丁寧に行った。)
- ・キャンプ、バーベキューで利用者が気持ちよく使用できる様に、備品整備に力を入れた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・利用者が大幅に減少し収入減となった為、令和2年度同様に経費削減に努めた。
- ①備品、消耗品の購入を抑えた。
- ②人件費の削減の為、臨時のパートを雇わず、常勤職員のみでなるべく運営した。
- ③食材のロスを防ぐ為に冷凍品を多めに取り入れた。
- ④植栽管理、除草、高木の選定等について、なるべく委託せずに自社職員で実施した。

③ その他

- ・安心安全な施設環境の提供の為、日々巡回を行い、危険箇所の特定し、早期対応を図った。(倒木防止の措置、蜂の巣の処置等)
- ・施設、設備の老朽化が進行しており、利用者の安全を確保する為に適切な立ち入り禁止・使用禁止措置を講じた。
- ・熱中症対策の勉強会を実施し、職員の熱中症の理解を深めた。
- ・長野市子どものための情報マガジン「ながのホリデー」等にて利用者拡大に努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・引き続き新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮した運営が必要となる。
- ・施設老朽化が進んでおり、早めの修繕と長野市への報告が必要となる。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が大幅に減った為、施設利用料金収入(指定管理料以外の収入)が大幅に減り、感染拡大防止の為、自主事業の開催を縮小した。このことから収入が大幅に減ったが、令和2年度同様、人件費やその他仕入れ費用の経費削減を行い施設収支の赤字を最小限に抑えられた。利用者対応が少なかった為その分、施設の調査・予防保全に特に力を入れ、新型コロナウイルスが落ち着き通常運営に戻った時、利用者へ安全・快適に利用して頂けるような環境整備を行った。

② 次年度以降の取組み

- ・引き続き新型コロナウイルス感染拡大状況をみながら施設運営・自主事業の開催を行っていく。
- ①感染予防を徹底し、利用者へ安心して利用してもらえる環境を作る。
- ②感染拡大状況を見ながら、自主事業の開催を再開させていく。(但し、定員を減らす事も含め感染拡大はしっかりと実施する。)
- ・施設老朽化への対応
- ①利用者への危険が生じる可能性がある場合は立ち入り禁止・使用禁止措置をとり早めの対処をする。(危険予測・予防保全)
- ②指定管理者の業務外になる可能性のある建築物・設備等の懸案事項は早めに長野市へ報告相談する。